

公益社団法人日本バリュー・エンジニアリング協会
2020年度事業報告書

(2020年 4月 1日から2021年 3月31日まで)

【概況】

2020年度は、コロナ禍に振り回される1年となりました。上期は、各種講座や大会、会合等中止または延期し、感染拡大防止に努めると共に、各種イベントのオンライン開催に向けた準備及び試行に努めました。

9月からはオンライン開催に切り替え、10月のVE全国大会も初めてオンラインで開催しました。遠距離でも出張せずに参加できるなど、オンラインならではのメリットが前向きに評価され、その後の事業は比較的順調に推移するかに見えてましたが、長引く感染拡大の影響は大きく、下期後半は集客や試験の受験者確保で再び苦戦を強いられる結果となりました。

そうした中、アナログ方式ながら通信講座の受講者が増加しましたので、急ぎ、新たな通信講座の開講準備も進め、新年度から開講しました。

社会全体を見渡しますと、コロナ禍や相次ぐ自然災害等を契機として人々のSDGsへの意識はますます高まってきているようです。ESGへの関心も高まっていますので、これからの企業経営を考える上で、社会的課題への取り組みは不可避となってきました。

経営管理面では、論理思考からデザイン思考へ、そしてアート思考へと、より感性を重んじる方向へ視点が移ってきているようです。感性にもとづいて独自性を打ち出すことは重要ですが、何をもって社会に貢献するのかという視点も大変重要です。

社会をよりよく変えるためにどのような価値を生み出そうとするのか、それを仮に「ソーシャル・バリュー・インパクト」と呼ぶことにして、ソーシャル・バリュー・インパクトからバックキャストで長期・中期・短期のアウトカムを設定する。それらを実現するためにどのような製品やサービスを提供するのか。こうしたことを検討するプロセスもまたVE的思考を活用する領域として捉えていくべきと考えます。

2020年度は、社会に新たな価値を生み出し、多くの社会的課題を解決するために「VEを新たなステージへと進める」ことを掲げ、「バリューデザイン」の研究を推進しました。新年度も引き続き同じテーマを掲げて、「社会に貢献するVE」のあり方、進め方を探求していく所存です。

1. 講座

1) バリューデザインスクールの開催

(1) VE初級コース

	VEL受験対策	製品改善 ワークショップ	製品改善 ワークショップ
開催日	9月17日～18日	10月 5日～ 6日	11月12日～13日
会場	日本VE協会 オンライン同時	オンライン開催	オンライン開催
受講者	10名	12名	12名

	製品改善 ワークショップ
開催日	12月17日～18日
会場	オンライン開催
受講者	12名

(2) VE中級コース

	機能の整理法	VEプロジェクトの 進め方	VEで活用する アイデア発想
開催日	9月 1日	9月 9日	9月28日
会場	オンライン開催	オンライン開催	オンライン開催
受講者	14名	14名	13名

	VEブラッシュアップ (基本編)	VEブラッシュアップ (短文記述編)	VEブラッシュアップ (論述編)
開催日	10月 8日	10月 9日	10月16日
会場	オンライン開催	オンライン開催	オンライン開催
受講者	13名	14名	16名

	開発設計のVE	企画段階のVE	実行力を高める 調達・購買
開催日	1月21日～22日	2月10日	2月19日
会場	オンライン開催	オンライン開催	オンライン開催
受講者	(中止)	(中止)	(中止)

	ソフトVE	VEで活用する TRIZ	伝える・伝わる プレゼンテーション
開催日	03月04日～05日	03月10日	03月11日
会場	オンライン開催	オンライン開催	日本VE協会
受講者	(中止)	(中止)	(中止)

(3) VE上級コース

	経営者を納得させる VE提案書の書き方	VEの原点的思考 (機能分析中心)	VEを組織的に適用する ためのマネジメント
開催日	12月 3日	1月20日	1月28日
会場	オンライン開催	オンライン開催	オンライン開催
受講者	5名	5名	8名

	VEチームを価値創造集団へと導く ファシリテーション力
開催日	2月25日
会場	日本VE協会
受講者	(中止)

(4) DC (Design & Cost) コース

	開発設計業務でのコスト エンジニアリング	DFA (Design For Assembly) 体験	企画から生産までの原価 企画実務上の留意点
開催日	11月17日	12月11日	12月17日
会場	オンライン開催	オンライン開催	オンライン開催
受講者	9名	(中止)	7名

	コストテーブル作成・ 活用の体験	企画・構想段階の機能と 品質の決め方	UD (ユニバーサル デザイン) の体験
開催日	1月13日	2月 2日	2月16日
会場	オンライン開催	オンライン開催	オンライン開催
受講者	8名	6名	(中止)

(5) 経営者フォーラム

	第1回	第2回	第3回
開催日	5月21日	9月 2日	3月18日
会場	アイビーホール (青学会館)	アイビーホール (青学会館)	アイビーホール (青学会館)
テーマ	野生化するイノベーション ～ 日本経済『失われた 20年』を超える ～	野生化するイノベーション ～ 日本経済『失われた 20年』を超える ～	—
参加者	(中止)	(中止)	(中止)

2) その他研修会等の開催

(1) 無料オンラインセミナーの開催

講座等の対面開催が難しくなったことから Teams、Zoom 等 WEB 会議ツールを使ってのオンライン開催を進め、これらを広く告知するため月1回ペースで開催。

(2) オンライン講座の開催

	VEの基本が学べる WEB講座
開催日	6月30日
受講者	11名

(3) 「VEの基礎」通信講座の開講

地理的・時間的な都合等で通学講座の受講が難しい人にも、VEの基礎を学び、VEリーダー (VEL) 資格認定試験の受験資格を取得できる機会を設けること等を目的に開講し、118名が受講。

(4) 西日本支部（中四国地区）でのVE塾の開講

メンバー	内容
(中止)	製品VEや作業VEを実際に役立たせるための進め方やポイント。

(5) CVS（Certified Value Specialist）によるVE技術者育成支援【「CVSフォーラム委員会」のオンライン開催】

	開催日	出席者	主な内容
第149回	6月5日	10名	① 商店街活性化VEプログラムの資料化 ② 2020年度の立上活動について、など
第150回	7月15日	11名	① 商店街活性化VEプログラムの資料化 ② 2020年度の立上活動について、など
第151回	8月20日	8名	① 商店街活性化VEプログラムの資料化 ② 2020年度の立上活動について、など
第152回	9月18日	9名	① 2020年度立上活動（新型コロナ状況下におけるVE、AIを活用したVEのやり方）について、など
第153回	10月21日	9名	① 2020年度の立上活動について ② 2021年度研究企画の募集にあたって、など
第154回	11月24日	8名	① 2020年度の立上活動について ② 2021年度研究企画の募集について、など
第155回	12月22日	8名	① 2020年度の立上活動について ② 2021年度研究企画の募集について、など
第156回	1月22日	8名	① 2020年度の立上活動について ② 『CVSフォーラム』2020年度総会について、など
第157回	2月16日	8名	① 2020年度の立上活動について ② 『CVSフォーラム』2020年度総会について、など
総会	3月16日	30名	① 新CVSの紹介 ② 意見交換、など

(6) 教育機関におけるVE導入・普及

立命館大学大学院テクノロジー・マネジメント研究科主催の課題解決型長期企業実習「プラクティカム」に協力団体として登録。同研究科の院生に管理技術による改善指導の手法を学習する機会を上海VE協会の協力を得て提供し、その成果発表会をオンラインで開催。

2. 資格認定

1) 資格認定制度の整備・体系化

米国VE協会のCVS認定制度改定を受けて、ファシリテーション講座の開設準備。受験及び再認定要件の具体的な変更点については、CVS認定試験実施要領及びCVS再認定申請要領等を改定し、それらにより公表。

2) 資格認定試験の実施

試験名	実施日	会場	受験者	合格者
第49回 V E L 認定試験	4月18日 ～ 3月15日	全国約200箇所	1,659名	1,282名
第23回 V Eスペシャリスト (V E S) 認定試験	12月 5日	東京・大阪・福岡	32名	27名
第41回 C V S 認定試験	10月17日	東京	2名	1名

※ V E Lについては、上記のほか中国でも実施しており、これまでに6名が受験・合格。

3) 「バリュー・エンジニアリング (V E)」誌の編集・発行・発送・配信

(1) 「V E誌編集委員会」の開催

	開催日	出席者	主な内容
第86回	7月 9日	7名	① 2020年度前期の編集実績と検討課題について ② 2020年度後期の編集企画と検討課題について、など
第87回	2月 3日	9名	① 2020年度後期の編集実績と検討課題について ② 2021年度の編集企画について、など

(2) V E誌の発行・発送・配信

第309号	第310号	第311号	第312号
5月 1日	8月 1日	11月 1日	2月 1日

4) 更新登録の実施

- (1) V E L、V E S、C V S登録者の更新登録 (V E L、V E Sは終身登録を含む) を実施。
- (2) V E Sについては、新型コロナウイルスの影響でV E関連イベントの多くが中止・延期となり、V E関連活動に該当する行事の開催数が減少した状況に鑑み、2020年度の更新に限り必要な更新要件ポイントを30点から20点に緩和。

3. 講習

1) 「第53回V E全国大会」のオンライン開催

会 期	10月27日、11月 4日、11月10日【3日間】
視聴人数	2,660名 (3日間のトータルアクセス件数)
内 容	オープニングセッション、講演 6 件、マイルズ賞受賞報告、V E活動優秀賞受賞報告、不便益とV Eフォーラム、V E活性化フォーラム、V E実践論文発表、V E活動事例発表、特別報告

2) 地域V E大会の開催 (西日本支部 関西地区、中四国・九州地区)

	第52回 V E関西大会	第64回 西日本V E大会
開催日	2月18日	9月11日
会場	オンライン開催	マツダ(株)
参加者	162名	(中止)
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 講演 1 件 ➢ 事例紹介 3 件 	

3) VEセミナーの開催（西日本支部 関西地区）

	VE阪神セミナー	VE京滋セミナー
開催日	7月15日	11月27日
会場	大阪国際会議場	メルパルク京都
参加者	(中止)	(中止)
内容		

4. 研究開発

1) 「バリューデザイン・ラボ」での先端的・実務的研究及び調査等の積極推進

(1) 開発研究会での先端的研究

① 「不便益&VE研究会（第2フェーズ）」の開催

	開催日	出席者	主な内容
第1回	6月15日	4名	第2フェーズ（実践編）の活動内容検討
第2回	6月26日	4名	実証実験のための調査方法と対象テーマの検討
第3回	7月9日	4名	現地調査計画
第4回	7月16日	4名	現地調査計画の見直しと対象テーマの実施方法検討
第5回	8月6日	4名	対象テーマの機能分析
第6回	9月14日	3名	VE全国大会での発表内容検討
第7回	10月12日	4名	VE全国大会での発表内容の確認

② 11月4日に第53回VE全国大会の「不便益とVEフォーラム」で不便益の実装について発表。

(2) VE国際大会及びINVEST VE大会への参加による、海外諸国研究動向についての情報収集

6月にオンラインで開催されたSAVE（米国VE協会）Value Summit、12月にオンラインで開催されたINVEST（インドVE協会）Annual Conferenceに参加し、発表や講演を通じて欧州、アジアにおけるVE実践・研究等に関する情報を収集。

2) 各支部での実務的研究の推進

(1) 機能別部会での研究活動

① 東日本支部に下記の機能別部会を設置して、実務的な研究活動をオンラインで推進。

部会名	メンバー	主な内容
マネジメント部会	11名	ブルーオーシャン戦略やデザイン思考を加えたスタートアッププロセスに適用できるVE手法の開発。
VE推進部会	22名	VE推進上の課題について参加各社のノウハウをもとにした成功のためのポイントについての研究。
マーケティング部会	11名	マーケティング手法の理解や新たな価値を創造するためのツール開発と検証。
R&D部会	9名	価値を創造する手法としてVE手法を進化させるための関連手法を含めた探究と研究開発。
ものづくり部会	30名	ものづくり現場に出向き、現地・現場・現物を確認することによる最適な設計・生産・調達のあり方の理解。
社会インフラ部会	19名	「企業ケース検討会」と「建設VE研究会」による社会インフラに関わる研究。

② 活動報告会の開催

上記部会の活動報告会をオンラインで開催し、各部会での取り組み内容や活動成果の一端を紹介。

開催日	3月 2日
参加者	178名
内 容	部会及び研究会の活動報告、部会活動の成果発表、特別講演

(2) 専門研究会での研究活動

東日本支部及び西日本支部（中部地区・関西地区）に下記の専門研究会を設置して、実務的な研究活動をオンラインで推進。

① 東日本支部

研究会名	メンバー	主 な 内 容
若手VEリーダーのためのスキルアップ研究会	10名	若手やVE初心者層を対象に、実践上の悩みや困りごと、課題を取り上げ、“VEを使えるようになる”ことを目指す。

② 東海地区

研究会名	メンバー	主 な 内 容
中部建設VE研究会	14名	地域の実情にマッチした新たな時代の建設VE活動のあり方と「2時間VE手法」のさらなる洗練化。

③ 関西地区

研究会名	メンバー	主 な 内 容
つかいやすいTRIZ研究会	20名	VE等を含めた管理技術としての幅広い視点によるTRIZの普及・活用法。
経営革新を生み出す生き生きVE研究会	105名	各社のVE推進や実践方法等の情報をもとにした、VEの効果的な普及方法と活用法。
VEツール研究会	26名	ソフトVE等、過去に開発されたVE手法の見直しと実践。
サービス領域でのVE適用方法研究会	12名	第3次産業での共通領域であるサービス領域において効果的にVE活動を進める方法。
リーンシックスシグマとのシナジー研究会	8名	シックスシグマの手法とVEの手法を組み合わせた手法の構築と活用法。
原価企画の問題解決研究会	14名	原価企画推進上の問題の解決策。

3) プロジェクト形式での研究・検討

(1) Sustainable Value Design の研究

“モノとサービスの結合により社会に好循環を生み出す価値設計”の方法論を構築し、持続可能な社会づくりに広く貢献することを目的に、「SVD研究会」を設置。10月からメンバー5名で活動を開始、月1回ペースで会合を開催し、具体的な実施内容と計画を検討中。

5. 表彰

1) マイルズ賞の審査・授与

(1) 「マイルズ賞審査委員会」の開催

	開催日	出席者	主な内容
第1回	書面表決	3名	① 書類審査の結果について ② 理事会への答申内容について
第2回	書面表決	3名	① 本審査の結果について ② 理事会への答申内容について

(2) 理事会での授賞の決定

賞名	授賞先	所在地
マイルズ賞	(株)日立建機ティエラ 殿	滋賀県甲賀市

(3) 受賞報告会のオンライン開催

開催日	10月27日
内容	受賞報告

2) 協会顕彰の実施

(1) 「審査・認定委員会 顕彰審査部会」の開催

	開催日	出席者	主な内容
第1回	書面表決	4名	① 協会顕彰（VE活動優秀賞）の審査

(2) 受賞事業所の表彰

次の表彰を「第53回VE全国大会」で実施。

賞名	授賞先	所在地
VE活動優秀賞	三菱電機(株) 高周波光デバイス製作所 殿	兵庫県伊丹市

※ 新型コロナウイルス感染拡大の状況に鑑み、個人を対象とする表彰は中止した。

3) VE実践論文の審査・表彰

(1) 「審査・認定委員会 論文審査部会」の開催

	開催日	出席者	主な内容
第1回	6月29日	6名	① 応募論文の審査、など
第2回	8月26日	5名	① 修正論文の審査、など

(2) 入選論文の表彰

次の論文の発表を「第53回VE全国大会」で実施。

入選論文	① 内田 佳代 氏	(株)ETERNAL SMILE
	② 曾我部 誠 氏 他	三菱パワー(株)
	③ 玉山 等 氏	三菱電機(株)
	④ 萩尾 禎正 氏	矢作産業(株)
	⑤ 深江 和博 氏	(株)ひぐち
	⑥ 森田 明男 氏 他	首都高速道路(株)

6. 情報資料

1) 研究成果の資料化

- ① 不利益の実装 –バリュー・エンジニアリングにおける新しい価値
(不利益&VE研究会 著) 7月17日 発行
- ② 商店街活性化VEプログラム (VEコンサル向け)
(CVSフォーラム委員会 編) 8月20日 発行
- ③ サービス創出のプロセス研究 –生活者のベネフィットを生み出す新たなVE手法
(東日本支部 R&D部会 編) 1月 8日 発行
- ④ ビジネスアイデアを創出する「VEターゲティングプロセス」
(東日本支部 マーケティング部会 編) 3月 1日 発行

2) VE関連資料の発行及びVE教材等の販売

- ① 「第53回VE全国大会」VE研究論文集及び資料集 (電子版) 10月27日 発行
- ② ワークシートやアイデア発想ラベル・機能定義カード、VELバッジ等、VEの実施や推進のためのアイテムを販売。

3) VE関連書籍・資料・教材等の販売

VEの学習及び研究、普及促進に資するため、新・VEの基本等のVE関連書籍を仕入れて販売し、また本会が発行するVE関連資料・教材等を販売。

4) VE研究論文等のネット販売

電子化した過去のVE研究論文を協会Web Site内に開設したVE研究論文検索・購入サイト「VE論文navi」で販売。

7. VE活用支援

1) 出前講座の実施

No.	開催日	受講者	内容
1	6月 9日	11名	2 時間VE
2	6月10日	53名	VEの基礎 (オンライン開催)
3	6月26日	10名	2 時間VE
4	7月10日	13名	2 時間VE
5	7月16日	24名	VE研修 (1 日、オンライン開催)
6	7月17日	12名	2 時間VE (オンライン開催)
7	7月20日	14名	2 時間VE
8	7月29日	33名	VE研修 (半日、オンライン開催)
9	7月29日	9名	VEの基礎 (オンライン開催)
10	8月 4日	32名	VE研修 (半日、オンライン開催)
11	8月 5日～ 6日	20名	VEの基礎

12	8月 7日	15名	2 時間 V E (オンライン開催)
13	8月28日	20名	管理技術入門 (オンライン開催)
14	9月 7日～ 8日	6名	V E の基礎
15	10月 6日	29名	V E 実践事例
16	10月12日～13日	5名	V E の基礎 (オンライン開催)
17	10月28日～29日	12名	V E の基礎
18	11月10日～11日	9名	V E の基礎 (オンライン開催)
19	11月11日・19日	17名	V E の基礎 (オンライン開催)
20	11月16日～17日	15名	V E の基礎 (オンライン開催)
21	11月18日～19日	10名	V E の基礎
22	11月25日・27日	4名	V E の基礎 (オンライン開催)
23	12月 3日	40名	V E 講演 (一部オンライン開催)
24	12月15日～16日	28名	開発設計 V E (オンライン開催)
25	12月22日・25日	5名	V E の基礎 (オンライン開催)
26	12月24日	33名	改善マインド入門 (オンライン開催)
27	12月25日	34名	改善マインド入門 (オンライン開催)
28	1月 6日	15名	V E の基礎
29	1月 7日～ 8日	28名	企画・開発 V E (オンライン開催)
30	1月18日	26名	V E 研修 (1 日、オンライン開催)
31	1月26日・27日	17名	V E の基礎 (オンライン開催)

2) 指導講師の派遣

- (1) 日本国内では、依頼に応じて 4 社に V E 指導講師を派遣し、V E 導入又は実践の個別指導を実施。
- (2) 海外については、フィリピン政府が発注した公共事業の V E スタディレポートの指導を、新型コロナウイルスの影響により、日本国内から電子メールで実施。

3) V E ワークショップ・セミナー (48時間以上) の認定

6 件の V E ワークショップ・セミナーの再認定 (更新) を実施。

8. 広報活動

1) メールマガジンによる情報発信

メールマガジン「V E 情報メール」を毎月 1 回発行し、V E や本会に関する最新情報を積極的に発信。また、大会・セミナー等の案内や参加者募集など P R にも積極的に利用。

2) 協会 Web Site 等による情報発信

- (1) 協会 Web Site を運営し、V E や本会に関する最新情報を積極的かつタイムリーに発信。
- (2) 協会 Web Site 内の一コンテンツとしてブログを運営。V E や本会に関心を持っていただくことを目的に、職員が日常の出来事等と V E を関係付けた形に纏めて発信。最新ブログのアップについては、Facebook でも告知。

3) インフラメンテナンス国民会議への参加

国が支援し、自治体、企業、研究機関、NPO等で構成されているインフラメンテナンス国民会議に会員として参加し、社会資本の維持管理に関する情報を収集した。

4) 他団体との連携による広報

VE大会及びVEセミナーの開催にあたり、次の団体から後援及びPR支援をいただいた。

- | | |
|---------------------------|-------------------|
| (1) 一般社団法人日本建設業連合会 | (5) 公益社団法人大阪府工業協会 |
| (2) 日本インダストリアル・エンジニアリング協会 | (6) 公益社団法人京都工業会 |
| (3) NPO法人日本TRIZ協会 | (7) 公益社団法人兵庫工業会 |
| (4) 一般社団法人日本システムデザイン学会 | |

9. 会 議

1) 定時総会の開催

開催日	6月19日
出席者	75名
議案	① 2019年度計算書類の件 ② 役員選任の件 ③ 「社員総会運営規程」一部改定の件、など

2) 理事会の開催

	開催日	出席者	主な内容
第31回	（「決議の省略」という方法で決議）		① 2019年度の事業報告書及び計算書類について ② 役員を選任について ③ 第10期定時総会の招集について、など
第32回	6月19日	理事12名 監事 2名	① 会長（代表理事）、常任理事及び業務執行理事の選任 ② 事務局長の任命 ③ 常勤理事の役員報酬について
第33回	（「決議の省略」という方法で決議）		① 2020年度顕彰者の決定 ② 2020年度「マイルズ賞」の決定 ③ 「マイルズ賞受賞報告会」の開催について、など
第34回	（「決議の省略」という方法で決議）		① 2021年度の事業について ② 2021年度の収支予算について ③ 2021年度の資金調達及び設備投資について、など

3) 「本部企画委員会」のオンライン開催

	開催日	出席者	主な内容
第48回	3月 1日	7名	① 各支部・各委員会の2020年度概況と2021年度予定について ② 本会全体について

10. 会員数の異動

		会員数		入 会	退 会	増 減
		2020年 4月 1日	2021年 3月31日			
正 会 員	団 体	79	72	1	8	- 7
	個 人	40	34	1	7	- 6
賛助会員	団 体	85	79	1	7	- 6
	個 人	70	70	5	5	±0
合 計		274	255	8	27	-19

以上